



令和7年(2025年)7月号

木の実幼稚園

「みなる文庫」への思い

こんなに早く梅雨が明けるとは・・・、昨今の天候と季節の変化には驚かされることばかりですね。いつの間にか、日本は熱帯地方のような気候になり、昔の風情ある夏の夕立は、熱帯の激しいスコールに・・・。七月の頭から、これから長い長い真夏日が続きそうです。皆さん、これからの季節、体調には特に気をつけて、頑張って乗り切ってまいりましょう。

さて今回は、二年前に完成した木の実幼稚園の新ホール「みなるホール」一階にある、絵本とおもちゃのライブラリー「みなる文庫」のお話です。

「みなる」とは不思議な言葉ですが、新ホールを建築中に、年長組の子どもたちとの会話の中から命名したものです。「どんなホールになったらいいかなあ」という教員からの問いかけに、子どもたちから「みんな元気になる」「みんなニコニコになる」「みんなが面白くなる」ホールがいいよね、という声をもらい、その言葉の頭文字を使って作った造語です。ホールに集まれば、子どもも大人も、「みんな～になれる、～になる。」(何より「幸せになる」)という意味を込めました。

事実、先日にはこんなことがありました。少し前からナースリークラスの子どもたちの登園が始まり、お母さんから離れての生活がスタートしたのですが、登園直後は不安とさみしさから泣いてしまう子が続出。クラスの半分近くの子が泣くので、保育支援の担当の先生らが総動員で、一人一人の対応に追われる状態となりました。泣いている子どもを抱っこしながらあやしていたのですが、「みなるホール」一階の「みなる文庫」に移動すれば、なんとか気持ちも落ち着くのではないか、という事になりました。

みなる文庫は、部屋も広く、いろいろな種類の木製玩具を中心に、一歳から二歳の子どもたちも楽しめる玩具を用意しています。加えて大小の丸のカーペットが敷かれ、はだしで歩くのが心地よい木の床になっています。また、落ち着いた照明とやさしい朝の外光が部屋に差し込んでいます。その部屋に子どもたちが入って行ったのですが、先生がいろいろな玩具を見せたり、絵本を見せたりすると、なんと!!泣いていた子全員がピタッと泣き止んで、玩具を見つめ、その場に座り込んで遊び出すではありませんか。

園児のみならず、親子でもリラックスして絵本とおもちゃを楽しめる空間にということでデザインしたのが「みなる文庫」なのですが、環境になれない新入の子どもたちさえも、フットリラックスできて、気持ちが休まる空間として機能出来たことが本当に良かったと感じました。この日以後、ナースリークラスの子たちの朝のひとは、みんなで「みなる文庫」という形になりました。子ども達が生活する保育室の環境の質は、本当に大切なのです。

ということで、「みなる文庫」設置のコンセプトは、デジタル情報に取り囲まれた今の子どもたちが、絵本、図鑑、写真集、アートの本というアナログな世界の魅力を知り、じっくりと絵や物語と向き合い、心の中で語りあい、いろいろと想像の世界を広げる楽しさを味わってもらいたいという思いなのですが、この二年間でたくさんの本を整備してきました。

加えて、興味をもったことを調べたり、知識を広げ、考える面白さ＝知的体験を味わってほしいという願いも込めています。そこには、先生方や保護者の皆様向けの本、大人も楽しめる本も取り入れ、大人、子どもの区別なく楽しめる空間を目指しました。(現在、蔵書は2000冊を超えました。)

本だけではなく、デジタルの動画や画面ではなく、ものを動かし、ものを組み合わせ、目と手、体で感じ、その中で想像力が広がる良質な木の玩具、デザイン性と安全性の高い玩具を世界中から選んで用意しています。

毎年、少しずつ数を増やし、現在三歳から上の玩具だけではなく、一歳、二歳児さん向けの玩具も取り入れながら、将来は「世界のグッド・トイ」が揃う事を目標に、整備を進めています。(おもちゃは、現在すでに200点そろっています。)

また、先生方が保育で絵本や図鑑が活用できるよう、バーコード管理による図書館専用のソフトウェアを導入し、すべての本にバーコードを付けています。加えて、玩具ひとつひとつにもバーコードを付けて、玩具の維持管理の質を上げ、本と玩具の大きなデータベースを構築しているところです。

この園児と教職員向けのデータベースが整えば、近い将来は、保護者の方にも絵本や玩具の貸し出しも行えるようにしたいと考えていまして、この乳幼児向けの絵本とおもちゃのライブラリーを、他にはない木の実幼稚園の「知の宝庫」「想像力の宝庫」にしたいと考えています。

この「みなる文庫」のある「みなるホール」の室内全体は、子どもたちが触れる部分の素材にはすべて良質の木材が、壁には土を使っています。照明は蛍光灯ではなく、すべて落ち着いた照明とし、気持ちが和らぎ、心が落ち着く環境にデザインしています。

木の心地よい香りに包まれながら、絵本や物語とじっくり向き合い、子ども同士がしずかに語り合える場。電子音もなく、やわらかな音が響きあう玩具で、気持ちが落ち着き、想像力が広がる。そういう経験の中でこそ、良く見つめ、よく考える子どもたちが育っていくと確信しています。

スマホや動画がなくても、無限に楽しい経験が出来る。絵本や物語を通して新しい世界を知っていくという経験を、この「みなる文庫」で、何よりこの木の実幼稚園で、無限に膨らませてほしいのです。

園長 今川 公平



行 事 予 定



3 (木) お弁当日

8 (火) 火祭り セタに関連した行事を行います。

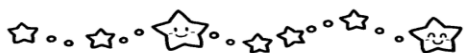
18 (金) 1学期終業式(午前保育) 保育終了後の預かり保育はありません。

22 (火) ~24 (木) 夏季保育(午前保育 ※早朝・午前保育後預かり保育 有り)

7/25 (金) ~8/5 (火)・19 (火)・20 (水) 夏季特別預かり保育(申込者のみの参加)

8/22 (金) 地蔵祭り 下記参照

25 (月) ~8/29 (金) 夏季保育(午前保育 ※早朝・午前保育後預かり保育 有り)



お 知 ら せ



☆写真撮影の予定 7/ 4 (金) セタ写真 → クラス集合写真
8/22 (金) 地蔵祭り → スナップ写真

☆7月22~24日、8月25~29日(土日を除く)は夏季保育です。この期間は午前保育の時間ですので、バスやお迎え等お間違えのないようお願い致します。持ち物等、別紙お便りを配布します。また、夏季保育期間中も早朝預かり保育、午前保育終了後の預かり保育を実施致します。

☆7月25日~8月5日、19日、20日は夏季特別預かり保育です。事前に申し込まれた方のみ参加となります。※この期間の早朝預かり保育は実施致しません。

☆地蔵祭りについて

年間行事計画でもお知らせしていましたが、今年度、これまで行ってまいりました園行事としての地蔵祭りの在り方を見直し、お地蔵様をお祀りするという本来の意味を保育としてどう子ども達に伝えていくのか教職員で検討を重ね、今年度の地蔵祭りは、以下のように実施することとなりました。

実施日 : 8月22日(金) 午前保育の時間内

参加対象: ぽっぽ組、年少組、年中組、年長組 園児の希望者(後日、参加希望のアンケートをとります。)

登園方法: 登園、降園時間は午前保育の時間帯(バス送迎も実施)

内容 : 幼稚園のお地蔵様へのお参り、数珠送り、盆踊り、お地蔵様についてのお話 等

その他 : ・参加は自由です。(ただし、園児のみ。保護者、兄弟姉妹は参加できません。)
・実施内容は現在検討中ですので、上記内容が若干変更となる場合があります。
・参加者には、お菓子とお地蔵様のカードのおみやげを持ち帰る予定です。
・その他、詳細は後日お知らせ致します。